

第71回 広島県高等学校総合体育大会 陸上競技の部 大会結果報告

平成30年5月25日(金)～5月27日(日) 於:エティオンスタジアム広島

これまで多くの生徒が目指してきた広島県総体が、5月25日～27日に開催されました。今年は、男子8名、女子11名が出場しました。去年から、この大会を一つの目標にし、練習してきたことを出し切り、大会に挑みました。今回は、3種目4名が入賞し、1種目で中国大会の出場権を獲得しました。これまで練習してきたことをしっかりと出せた人が多かった大会3日間でした。

【1日目】

男子5000m競歩では、昨年の県新人大会で入賞している2年生の礪川くんが、出場しました。暑い中でのレースとなりましたが、これまでコツコツと歩いて努力してきた成果を7位という結果で現してくれました。暑い中前半から積極的に前を追うレースで、自己ベストには届かなかったものの、きちんと入賞することができました。

午後に行われた男子走幅跳では、3年生の岡田黎士くんと、2年生の乃美裕介くんが、1本目に入賞圏内の6m76と、6m95を跳びました。今年は周りがどんどん記録を伸ばしていく中、なかなか伸ばし切ることができず、予選は乃美くんが4位、岡田くんが7位で通過となりました。そこからも目まぐるしく記録が伸び、順位が入れ替わる中、乃美くんは結局1本目の記録のまま4位で終了。岡田くんは途中6m87の跳躍で6位に浮上するものの6本目に逆転され悔しい7位となりました。

【3日目】

女子三段跳は、去年からインターハイ種目になったということで記録がどんどん向上していく種目です。その中で、3年生の猪原さんが4位という狭き門に臨みました。この日の調子も良く、練習も良い感じできていたので自信を持って臨むことができました。しかし、今シーズンの課題だった助走の安定がうまくできず、踏切番に乗らない跳躍であったり、ファール跳躍であったりと苦しい展開となりました。他校の1年生、2年生がどんどん記録を上げていく展開で気持ち的にも焦り、記録を伸ばすことができずに7位で終了しました。

この大会を通じて、勝負の厳しさをひしひしと感じる半面、北高生の可能性というのも強く感じることもできました。1、2年生は次に向けて、高い目標をもってこれから陸上競技に取り組んでいてもらいたいと思います。またこの大会で多くの3年生が競技から離れていきます。陸上競技や部活動で学んだことを今後活かしていてもらいたいと思います。チャレンジすることを忘れず、自分を超越することを楽しみながら受験勉強に切り替えていてもらいたいと思います。

関係の先生方、先輩方、保護者の皆様、御声援ありがとうございました。

女子4×400mR



男子4×100mR



男子1500m



集合写真



男子走幅跳	第4位	乃美 裕介 (2)	6 m95 (+0.5)	三原市立第三中学校出身
男子走幅跳	第7位	岡田 黎士 (3)	6 m87 (+2.1)	尾道市立高西中学校出身
男子5000mW	第7位	磯川 真之介 (2)	27' 25" 59	三原市立本郷中学校出身
女子三段跳	第7位	猪原 詩音 (3)	10m71 (+3.3)	尾道市立栗原中学校出身

※入賞のみ



平成30年度全国高等学校総合体育大会

翔べ誰よりも高く東海の空へ

2018 彩る感動 東海総体

開催期間: 2018年7月26日(木)~8月20日(月)

総合開会式: 8月1日(水)